

# 大阪労連女性部ニュース NO. 9

みんなの力で、要求実現！

2012年6月27日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労会館1F

## 第38回女性部委員会開催

6月13日(水)第38回女性部委員会を開催しました。はじめに、非正規労働者部会事務局長の嘉満さんより『ふつうに働いて安心してらせる社会をめざして』と題してミニ学習会を行いました。学習会のなかでは、非正規労働者が全国でも38.7%、大阪では45.2%になっている。女性労働者では、2人に1人(53%)が非正規で青年も多いのが実態。年収も200万未満が1099万人となり、非正規労働者1800万人のなかでも有期雇用労働者が1200万人とされる。また、有期雇用の41%が世帯主で生活をまかなっている。かつては家計補助といわれてきたが、いまや生活をするための収入源となっている。そんな状況の下、私たちはディーセントワークの実現をめざして「同じ仕事には同じ賃金(均等待遇)」めざす運動、最低賃金引き上げ1000円以上を求めて職場に渦巻く不満を「要求」に、正規と非正規が団結して経営者に迫っていくことが必要。非正規だけが条件悪い会社はない。非正規の条件が悪ければ正規も劣悪な状況なので、正規・非正規が一体になって頑張っていかなければならないと運動を呼びかけました。

職場の不満を要求に！  
正規労働者と非正規労働者が一体となつてたかおう！



春闘中間総括と大会までの行動提起では、財界いいなりの消費税増税・骨抜き労働者派遣法・原発ゼロの運動など、まさに「いのちと暮らしを守る」春闘のたたかいでした。大阪でも大阪府・市で強行採決された「2条例」問題、また橋下市長による職員への思想調査や組合への不当労働行為、市民サービスをバツサリ切り捨てる市政改革プランなど橋下独裁政治に市民との共同をひろげた春闘となりました。

当面の行動では、引き続き府・市における「2条例」の具体化を許さないたたかいと市政改革案の市民サービス切り捨て、男女共同参画センタークレオの廃館撤廃の署名運動を広げよう。また、7月の最賃審議会への署名運動に女性部として「最賃引上げ1000円」シールを作成したのを職場の隅々まで広げ署名を取り組みことなど確認されました。他には原発ゼロの運動や原水禁世界大会、日本母親大会など積極的に参加の取り組みをしていくことも確認されました。

発言者からは、「保育所のポールは、鯉のぼりをぶらさげるものではなく国旗を掲げるものだと言われた」「思想アンケートの時は、治安維持法の再来かと思ってぞっとした。でも全国から励ましがきて元気がでた」「銀行で非正規で働いて33年の人の年給受給額が年 96 万円。女性の視点から、非正規も青年もまきこんで頑張っていきたい」「こんな大阪の現状がいやで採用されたにも関わらず辞退した人が13%もいる。子どもたちの未来がつぶされないよう頑張っていかなければ」「公務でも任期付の短時間勤務が増えている。賃金、労働条件が悪い。窓口業務でも雇い止めが起こっている。最賃は全体の取り組みだけど、女性が中心となって頑張っていきたい」など多くの発言がありました。

